



一、森山村長

代	氏名	地区	就任	退任	在職年月	現在の遺族	現住所
10	大久保純逸	〃	昭二・四・五	昭二・九・三・三一	七・〇	大久保純利(長男)	〃
9	波部恭平	〃	昭二・四・五	昭二・四・四	一・一	波部莊一郎(長男)	〃
8	工藤保一	〃	昭五・四・八	昭二・〇・二・二・八	一五・九	工藤由岐夫(長男)	〃
7	藤井正一	〃	昭二・一・三一	昭五・二・一・三	三・一		
6	波部菊太郎	〃	大二・二・二・六	昭二・一・一・〇	三・二	波部莊一郎(孫)	〃
5	藤井正一	〃	大三・六・五	大二・二・一・一・一・八	九・六	藤井啓一郎(分家)	森藤
4	一宮孝吉	〃	明四・五・五	大三・二・二・八	二・一・〇	一宮昌雄(孫)	鴨島
3	波部茂平	森藤	明三八・九・一	明四・五・三	五・九	波部清(養子)	不明
2	井上国次	中島	明二・五・二	明三八・三・三一	一二・一一	井上孝夫(長男)	愛知県
1	藤井吉平	森藤	明二・二・七	明二・五・三・三一	二・五	藤井啓一郎(分家)	森藤

写真 (歴代村長)



工藤保一



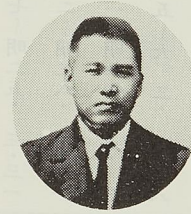
一宮孝吉



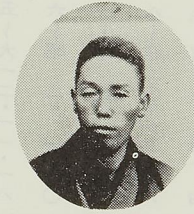
藤井吉平



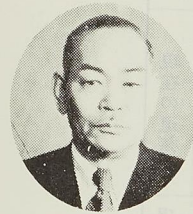
波部恭平



藤井正一



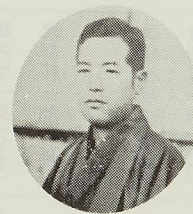
井上国次



大久保純逸



波部菊太郎



波部茂平

二、森山村会議員

1 明治二十二年十月選挙

桑田八重吉・三木田政太郎・武岡竜五郎・笠谷伊之助・松尾芳次郎・高木茂三郎・藤井吉平  
藤井虎太・大久保需平・大串市平・井上里之丞・中 哲之資

2 明治二十五年十月選挙

一宮萬三郎・後藤田弁吉・井上繁太郎・大串市平・後藤田伝三郎・井上里之丞

3 明治二十八年十月選挙

武岡丑太郎・原田貞吉・斉藤萬吉・藤井吉平・藤井虎太・三木田政太郎・大久保嘉久太

4 明治三十年六月補欠選挙

波部菊太郎・笠谷伊之助・桑原茂市・土岐伊八郎・桑田八重吉・一宮孝吉

5 明治三十一年十月選挙

桑原茂市・一宮孝吉・笠谷伊之助・後藤田伝三郎・井上繁太郎・三木田政太郎

6 明治三十二年六月選挙

7 大久保嘉久太・笠谷伊之助・木村武七・近藤金吉・土岐伊八郎・桑田唯吉・藤井吉平  
明治三十七年十月選挙

8 佐尾山正平・佐藤浅吉・原田米蔵・植納常三郎・後藤田伝三郎・一宮孝吉・桑原茂市・田村浅五郎  
明治四十年十月選挙

9 井上繁太郎・藤井吉平・井上朝之助・植納常三郎・桑原民太郎・木村武七  
明治四十三年十月選挙

10 後藤田藤五郎・石田熊三郎・原田米蔵・佐藤折太郎・一宮孝吉・後藤田伝三郎・藤井正一  
大正二年十月選挙

11 木村武七・藤井正一・渡部茂平・大久保豊太郎・桑原邦之進・植納宇平・岡田要助  
大久保純逸・木村儀太郎・井上源太郎・桑原民太郎・後藤田伝三郎  
大正六年十月選挙

12 木村勝太郎・藤井茂市・岡田要助・大串甚助・渡部茂平・井上繁太郎・石田由蔵・桑原邦之進  
大久保豊太郎・桑原作兵衛・木村儀太郎・後藤田藤五郎  
大正十年十月選挙

13 木村勝太郎・一宮孝吉・岡田要助・工藤保一・桑原作兵衛・桑原邦之進・駒坂松太郎  
大塚伊蔵・植納儀之助・松尾梅吉・岡本米太郎・大串甚助  
昭和四年十月選挙

14 後藤田尚中・渡部恭平・麻植朝一・藤井甚三郎・木村勝太郎・吉川長平・松尾梅吉・中 伝二  
大塚伊蔵・阿部虎吉・佐藤全次郎・佐藤直太郎  
昭和八年十月選挙

15 佐藤直太郎・藤井甚三郎・深見辰三郎・阿部虎吉・中 伝二・木村勝太郎・植納宇平  
後藤田元一・大塚伊蔵・松尾梅吉・吉川長平・後藤田尚中  
昭和十一年九月補欠選挙

16 佐尾山一二・田中常太郎・尾崎浦太郎・近藤勝三郎・田村一市  
昭和十二年十月選挙

17 尾崎浦太郎・木村一八・木村勝太郎・後藤田元一・近藤勝三郎・田中常太郎・佐藤保平  
後藤田尚中・後藤田半作・藤川孫平・吉川長平・川島武雄  
昭和十七年五月選挙

原田萬一・後藤田尚中・井上徳三郎・森本源平・毛利新一・桑原三郎・木村一八・松尾梅吉  
丸亀喜一・後藤田元一・牧野重吉・波部恭平

18 昭和二十二年四月選挙

岡田喜平・槇納正義・三好保一・三好静雄・波部恭平・鳥田国一・大久保明一・井上一雄

原田萬一・桑田和平・竹内宣一・三木田市男・田中常太郎・田村新一・村本政太郎・麻植磐三郎

19 昭和二十六年四月選挙

吉川良一・田中常太郎・岡田喜平・野口義男・三好静雄・山下仁平・鳥田国一・大久保賢一

後藤田尚中・牧野真一・麻植磐三郎・石田磯一・後藤田重男・原田萬一・田中政一・三木田市男

### 三、鴨島町議会議員（森山地区選出）

1 昭和三十年四月選挙

松尾虎一・波部恭平・田村房一・三木田市男

吉村定吉（補欠 三十年十月より）

2 昭和三十四年四月選挙

松尾虎一・田村房一・吉川良一・後藤田喜久江・岡久一三

3 昭和三十八年四月選挙

松尾虎一・田村房一・吉川良一・佐尾山武重・藤川竹夫

4 昭和四十二年四月選挙

佐尾山武重・三木田市男・藤川竹夫

5 昭和四十六年四月選挙

藤川竹夫・川島高嶺・深見善作

6 昭和五十年四月選挙

藤川竹夫・川島高嶺・深見善作

7 昭和五十四年四月選挙

川島高嶺・深見善作・四宮忠平

8 昭和五十八年四月選挙

川島高嶺・深見善作・四宮忠平・野口 順・佐藤三郎

9 昭和六十二年四月選挙

深見善作・野口 順・佐藤三郎・植納謙司

四、麻植郡会議員（森山村選出）

氏名	地区	任期	現在の遺族
1 渡部菊太郎	森藤	明三二～明三六 〃四〇～〃四一	渡部莊一郎（孫）
2 三木田政太郎	中島	明三二～明三六	三木田 勝（曾孫）
3 渡部茂平	森藤	明三六～明四〇 〃四四～大 四	渡部 清（長男）
4 藤井吉平	〃	明三六～明四〇	藤井啓一郎（分家）
5 土岐伊八郎	〃	明四〇～明四四	不 明
6 大久保純逸	〃	大 四～大 八 〃 八～〃一一	大久保純利（長男）

五、徳島県議会議員（森山地区関係）

氏名	地区	任期	事 蹟
1 渡部 菊太郎	森 藤	明四一～大 四 大一二～昭 四	○副議長 一期 ○昭一六 私財寄附により紺綬褒賞受賞
2 藤 川 忠 義	森 藤	昭三〇～昭四八	○副議長 昭四〇・三～昭四一・三 ○議 長 昭四六・六～昭四八・二 ○全国都道府県議長会副会長 昭四七・七～昭四八・二 ○昭六二・四 勲四等瑞宝章受賞



現任  
徳島市

## 六、義太夫―南海大掾



本名 吉村武一郎頼信、嘉永六年（一八五三）七月十一日、二代目忠左衛門の長男として生まれる。森藤吉村家は初代忠左衛門の時代から、吉田屋と呼ばれ、酒造業を営む素封家であった。

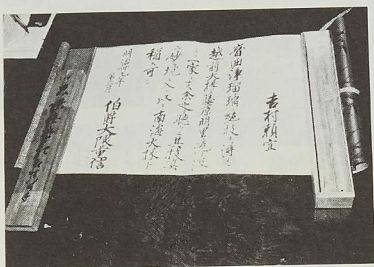
一勇斎の名で剣道にも長じていたが、若年の頃から義太夫を志し、不断の努力により秀れた才能を発揮し、山鳥の芸名で近隣はもとより広く人気を博し、多くの愛好者を育てた。明治十六年には、阿波素人浄瑠璃人気投票において大関となり、更に二十六年には、別大・大関山鳥として推賞されるようになった。

明治三十九年上京の際、時の衆議院議員須見千次郎（敷地出身）の紹介を得て、大隈重信伯を同邸に訪ねた。六十畳の広間に山鳥は、三味線の豊沢仙十郎を伴ない、かねて伯の所望である菅原四段目「吃の又平」を語り聴かせた。その妙技に感動した大隈伯は、自ら筆をとって「南海大掾」の称号を書いて贈り、同時に鳥帽子及び素袍を贈られた。

大掾とは、芸能人や芸人に対する最高名誉の称号であったから、山鳥の感激は言うまでもない。帰郷してから森藤附近の同志相ばかり「南海大掾名ひろめ」の人形浄瑠璃芝居を行い、近隣はもと

より、他府県からも愛好者がつめかけ、大入りの盛況だった。

昭和四年、七十七歳で没し「丹声院殿釈南海大掾大居士」の戒名が贈られた。尚、その称号記は数多の浄瑠璃本や道具類とともに、家宝として吉村家（当主吉村定吉氏）に蔵されている。



南海大掾称号記



鳥帽子正装姿の南海大掾

## 七、南画家―林 雲谿

明治三十六年一月六日、中島小杉節太郎の長男として生まれる。幼少の頃から画才に長じ、森山



小学校卒業後、画道研修のため上阪、大阪美術学校に入学、続けて赤松雲嶺塾に入り修業に専念した。  
昭和十一年、日本南画院展初入選以来、画業益々進み、昭和四十二年南画院展審査員となる。

独特の画法によるその作品は、日本南画に新生面を開き、日本南画院展は勿論、欧州・米国・スペイン・オーストラリア・中国・ソ連等、外国巡回展にも出品、高く評価されている。

この間、昭和四十年以来、日本南画院常任理事をつとめ、画壇に貢献、昭和五十八年には同院副理事長となる。

多年斯道における業績により、昭和五十一年、勲四等旭日小綬章、昭和五十五年には、紺綬褒賞を受賞する。

一方、昭和二十三年に画塾拍雲社を創設、後輩の育成にも努めている。県内においても、氏の画風を慕い入門する人が多く、山路の同人木村唯之氏を中心として、郷土文化の振興に寄与するところ大である。



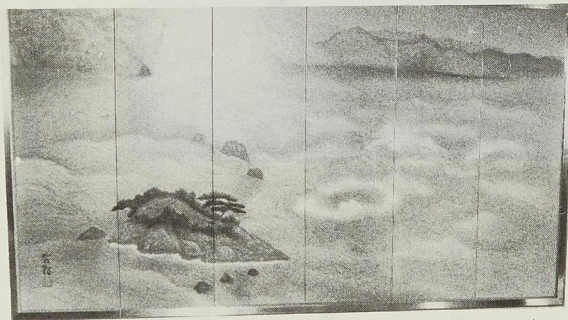
藤井寺天井画「雲龍」提供=山路木村唯之氏

昭和五十三年、四国霊場第十一番藤井寺に奉納した天井画「雲龍」は氏の力作であり、置県百年記念の制作「土柱」は、文部大臣賞を受賞、県庁に所蔵されている。

また、鳴門架橋記念館の陶板「鳴門画」も氏の揮毫になるものである。

こうした県文化振興に対する数々の功績が認められ、昭和五十九年には徳島県文化賞を受賞した。

また一方郷土愛も深く、昭和四十三年、母校森山小学校に「林雲鈴奨学賞」を設け、後輩の育成にも貢献している。



鳴門架橋記念館「鳴門画」(陶板) 提供=山路木村唯之氏





作成中の編集委員

右から

多田 久 森藤田中

桑原 肇 東森藤

委員長  
芝原富士夫 山路西部

金山栄作 内原西部

笠江宗宣 森藤壇

協力委員

岸田昌寿 森藤宮前  
 真鍋賢一 森藤田中  
 深見善作 森藤壇  
 野口順 森藤壇  
 麻植理 森藤東春日免  
 中川梅市 森藤向原  
 桑原義男 森藤向原  
 藤川竹夫 森藤東森藤  
 小川月船 山路寺谷  
 山根タノ 山路橋本  
 槇納茂子 山路東原南  
 戸村八重子 山路東原北  
 大塚安一 中島東新町  
 三木田治 中島中島東  
 大館芳宏 山路山路中央



林雲谿頌徳碑

以上のような氏の努力と数々の偉業を讃え、永く郷土の後輩子弟の教育にも資するため、昭和五十八年、森山小学校校庭に「林雲谿頌徳碑」が有志により建立された。

参考文献

阿波誌	旧高旧領取調帳	国書刊日本の石仏
麻植郡郷土史	粟の抜穂	徳島の石仏
麻植郡誌	戦国三好一族	日本常民生活絵引
新編美馬郡郷土誌	小少将	岩波古語事典
徳島県地名大辞典	平康頼史跡概観	
鴨島町誌	大正大研紀平康頼伝記	
貞光町誌	鴨島町の歴史豊文化財	
木屋平村史	読売新刊日本の歴史	
神領村誌	学研社刊物語日本史	
浦庄村史	新人往社刊日本史総覧	
森山小学校沿革史	万有百科日本歴史	
森山校の百七年	新人往社刊歴史研究	
姿なき阿波古城	阿波国人身売買史考	
	徳新刊徳島駅伝記念号	

ふるさと森山

久肇 田原富士夫  
 多桑 原  
 紙字 芝  
 表題 さしえ

発行日 平成2年2月15日

発行 鴨島町森山公民館郷土研究会  
 代表者 桑原 肇  
 編集 ふるさと森山編集委員会  
 印刷 坂東印刷所

頒布実費 1,500円



